

一般質問

市政全般にわたり18人の議員が質問しました。



新型コロナウイルス感染症 対応とその課題を問う

安海 のぞみ 議員 《会派に属さない議員》

誰一人体験したことのない
コロナ禍の4カ月を振り返り、
いかに対応し、どのような困
難や課題が生じていたのかを
子細に観察して記録に残し、
考察しながら今後に備えるた
め、障がい者やその施設への
支援及び対応と、子どもの居
場所確保の状況を伺います。

福祉部長 市内障がい者支
援事業所は様々な対策を取り
ながら事業を継続しています。

市は県からの情報の周知や感
染拡大防止対策等の相談に対
応し、必要な備品の調達を国
や県に要請していきます。家
族や支援者に感染があった場
合の対応については、短期入
所協力施設2カ所とケア付き



必要だったコロナ禍での 介護事業所への早期支援

加藤 陽子 議員 《会派に属さない議員》

全国介護事業者連盟が実施
し、1800余の事業所から
回答を得たアンケートによれ
ば、新型コロナウイルスの影
響により通所介護事業所が経
営への影響を最も大きく受け
ており、減収等の影響を受け
た事業所は9割を超えています。
減収の理由は、利用者の
利用控えやキャンセルの増加
新規利用者が少ないことなど、
閉所する事業所も出ています。

教育部長 主に、学校に通
えない児童・生徒の居場所づ
くりとして実施している学習
支援は、現在、市民館等3
館の利用中止に伴い行ってい
ません。休館により活動場所
がなくなった場合の代替場所
の確保が課題となっています。

市が管轄の18人以下の少人
数の地域密着型デイサービス
事業所21カ所の中で、有料老
人ホーム内に設置されている
事業所を除く16カ所のうち、
半分以上の10カ所で経営への
影響があるとのことでした。



児童・生徒1人1台の学習用端末整備について 環境の差により教育格差が生じないような支援を 問う

内藤 幸男 議員 《自民党・いさま》

国のGIGAスクール構想
に基づき、児童・生徒へ1人
1台の学習用タブレット端末
の整備を早急に実施すること
について、これまでに何度も
その必要性を言明しており、
自民党・いさまが市長へ提出
した新型コロナウイルス感染
拡大に係る要望書において
も同様を求めています。新た
に、令和2年度中に全児童・
生徒に対して学習用タブレッ
ト端末の整備をすることが示
されましたが、実施に向けた
計画の内容をお示しください。

健康部長 国が都道府県に
通知した新型コロナウイルス
感染症に係る通所介護事業所
のサービス継続支援について、
市では、事業所の方々が安心
して介護サービスを継続でき
るように、情報提供等を速や
かに行っています。

定員10人以下のデイサービス
は、数人が休むことにより採
算性が失われると言われてお
り、影響のある10カ所のうち
6カ所は定員10人以下の事業
所です。国の第2次補正予算
では支援策が出されましたが、
支給は7月以降とも聞きます。
市による早期の支援が必要だ
ったと考えますが、見解を伺
います。

先日、さがみ野駅北口付近
の店舗に男が押し入り、貴金
類を奪って逃走する強盗事
件が発生しました。まちづく
りの視点に立った、さがみ野
駅北口周辺の防犯対策を今後
どのように進めていくのか伺
います。

また、駅北側の東原パトカ
ー立寄所については、県警に
対し、活用とパトロールを増
やすことなど、駅北側地域の
警備対策のさらなる強化を要
望しています。加えて現在、
警察OBのくらし安全安心指
導員が日常のパトロールの中
で頻りに立ち寄っており、今
後も積極的な活用継続して
努めていくとともに、座間警
察署に効果的な活用方法を助
言いただくなど、地域の方々
の体感治安の向上につながる
よう努めていきます。

市は県からの情報の周知や感
染拡大防止対策等の相談に対
応し、必要な備品の調達を国
や県に要請していきます。家
族や支援者に感染があった場
合の対応については、短期入
所協力施設2カ所とケア付き



中小企業・個人事業主への 相談支援事業を！

佐藤 弥斗 議員 《さま進連会》

新型コロナウイルスの感染
拡大という緊急事態において、
市民にとって一番身近である
基礎自治体が果たすべき役割
は市民の生命と財産を守るこ
とであり、迅速で、きめ細や
かな対応が必要であると考え
ます。今回、本市では運転資
金の融資を受けた際の利子補
助や前年度比30%以上売上げ
が減少した事業者に給付金を
給付し、市ホームページと広
報で周知を行っています。が、
もっと積極的な情報発信をし
てほしいという要望や行政と
の距離が遠いと感じられると
いう意見をいただいています。
また、国や県、市で多くの支
援策が出されていますが、大

変理解しづらいことから、中
小企業や個人事業主などへの
相談支援事業を行うっていくこ
とへの所見を伺います。

環境経済部長 広報、周知
の工夫について、市内事業者
支援のためにも多方面に働き
かけて、活用できるように心
がけていきます。相談支援事
業について、複雑な申請に苦
慮している事業者が多数いら
っしゃることは認識していま
すが、相談内容に応じて職員
が個別に丁寧に対応していま
す。国、県の制度や本市の既
存事業の情報提供等も含めて
きめ細かく対応していきます。
また、商工会においても、同
様の対応がされています。



PCR検査・医療体制の 強化について

中澤 邦雄 議員 《日本共産党》

日本国内での新型コロナウイルス
の流行について、ピー
クを越えたと言われています
が、国民の間で不安がなくな
らないのは、日本の人口当た
りのPCR検査数が諸外国に
比べて桁違いに少ないと言わ
れているからです。感染の流
行の第二波を予想する上でも
PCR検査と医療体制の強化
は重要です。本市は座間綾瀬
医師会との協力でPCR検査
を実施していますが、実際の
運用実績について伺います。
また、採用しているドライブ
スルー方式での実績について
伺います。そして、医療体制
の強化について、本市が取る
べき対応を伺います。

健康部長 座間・綾瀬地域
のPCR集合検査場は、本市
綾瀬市、座間綾瀬医師会が連
携・協力して5月18日に開設
し、5月末までに29名の方が
検査を受けています。現在、
月曜日から金曜日の週5日間、
完全予約制により運用され、
両市でも資材や人材の支援を
行っています。検査の方式は
ドライブスルー方式を採用し
ており、現時点では1日最大
8件の検査を行うことで運用
されています。

本市の医療体制の強化につ
いて、今後も検査を含め、県
保健所に指揮、指導をいただ
きながら、医師会と連携・協
力して取り組んでいきます。



さがみ野駅周辺の防犯対策について 当局の考えを問う

高波 貴志 議員 《自民党・いさま》

また、駅北側の東原パトカ
ー立寄所については、県警に
対し、活用とパトロールを増
やすことなど、駅北側地域の
警備対策のさらなる強化を要
望しています。加えて現在、
警察OBのくらし安全安心指
導員が日常のパトロールの中
で頻りに立ち寄っており、今
後も積極的な活用継続して
努めていくとともに、座間警
察署に効果的な活用方法を助
言いただくなど、地域の方々
の体感治安の向上につながる
よう努めていきます。

また、家庭の事情によりイン
ターネット環境が整っていな
い家庭に対する支援について
も、今後検討を進めていきま
す。

本会議の概要

- ▽5月29日 開会、会期決定、会議録署名議員指名、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託省略・討論・採決、議案上程・提案説明・総括質疑・委員会付託、陳情上程・委員会付託、報告上程・質疑、議員提出議案上程・提案説明・質疑・委員会付託
- ▽6月5日 一般質問
- ▽6月8日 一般質問
- ▽6月9日 一般質問、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託
- ▽6月22日 委員会審査報告・質疑・討論・採決、継続審査案件上程、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託省略・討論・採決、報告上程・質疑、議員提出議案上程(提案説明・質疑・委員会付託・討論)省略・採決、閉会